

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

G-CSF 産生肺癌組織検体での PD-L1 測定研究

【目的】

G-CSF産生腫瘍は平均生存期間4.7ヶ月と予後不良な疾患として知られています。予後が悪い理由が、腫瘍自体の悪性度か、腫瘍産生G-CSFかははっきりしていません。当院での経験でG-CSF産生腫瘍でかつPD-L1高値の患者に免疫チェックポイント阻害薬であるペンブロリズマブ（キイトルーダ®）を投与したところ、著効する症例を経験しました。G-CSF産生腫瘍は低分化あるいは未分化癌など悪性度が高い腫瘍に合併することが多く、PD-L1発現が高値である可能性を考えました。そこで当院での血液検査でG-CSF高値を示した患者さんの組織検体を用いて、後方視的にPD-L1の発現を検討することにしました。

【対象】

2008年から2019年までに当院を受診し、肺癌と診断された患者さんのうち、血液検査のG-CSFの値が高い患者さん

【方法】

2008年から2019年までに当院を受診し、肺癌と診断された患者さんのうち、血液検査のG-CSFの値が高い患者さんのPD-L1の検査結果を収集します。PD-L1の測定されていない患者さんで腫瘍検体が残っている場合には、この研究に使用させていただきます。この検査は匿名化した上で取扱いますので、あなたの氏名等の個人情報を使用しません。

【利用する試料・情報】

組織残余検体、PD-L1を測定した患者さんの場合はその検査結果

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから2019年12月31日まで

【研究責任者】

横浜市立市民病院 呼吸器内科 宮崎 和人

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町 56
電話 045-331-1961（病院代表） 呼吸器内科 宮崎 和人

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。なお、新しい試薬で測定した検査結果の開示をご希望の方はお申し出ください。